

鋼船規則

鋼船規則検査要領

CS 編

小型鋼船の船体構造及び
船体艤装

鋼船規則 CS 編
鋼船規則検査要領 CS 編

2016 年 第 2 回 一部改正
2016 年 第 2 回 一部改正

2016 年 12 月 27 日 規則 第 74 号 / 達 第 76 号

2016 年 7 月 27 日 技術委員会 審議

2016 年 9 月 20 日 理事会 承認

2016 年 12 月 16 日 国土交通大臣 認可

規則の節・条タイトルの末尾に付けられたアスタリスク (*) は、その規則に対応する要領があることを示しております。

鋼船規則

規
則

CS 編

小型鋼船の船体構造及び船体艤装

2016 年 第 2 回 一部改正

2016 年 12 月 27 日 規則 第 74 号

2016 年 7 月 27 日 技術委員会 審議

2016 年 9 月 20 日 理事会 承認

2016 年 12 月 16 日 国土交通大臣 認可

規則の節・条タイトルの末尾に付けられたアスタリスク (*) は、その規則に対応する要領があることを示しております。

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艤装

改正その1

6章 二重底構造

6.1 一般

6.1.1 適用

-1.を次のように改める。

-1. 船舶には、船首隔壁から船尾隔壁まで、水密構造の二重底を設けなければならない。内底板は、船底を彎曲部まで保護するように船側まで達するものとし、いずれの位置においても **A 編 2.1.478** に規定するキール線から垂直上方 h (m) に位置するキール線に平行な平面より上方となるよう配置しなければならない。

$$h = B''/20$$

B'' : **4.1.2(11)**の規定による。

ただし、いかなる場合も h は、0.76m 以上とする。また、2.0m を超えることを要しない。

6.1.3 排水

-4.を次のように改める。

-4. 前-2.及び-3.に規定するウェルについては、軸路後端のものを除き、**A 編 2.1.478** に規定するキール線からウェル底部までの垂直距離を 0.5m 未満としてはならない。ただし、前-1.の目的のためのウェルに代えて、本会の適当と認めるビルジタンクを設ける場合、又は船舶に応じて規則 **CS 編 6.1.1-2.**又は-3.に規定する二重底を省略するための要件に適合することを確認した場合にあっては、この限りではない。

附 則（改正その1）

1. この規則は、2017年1月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 次のいずれかに該当する船舶以外の船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。
 - (1) 施行日以降に建造契約が行われる船舶
 - (2) 建造契約が存在しない場合には、2017年7月1日以降にキールが据え付けられる船舶又は特定の船舶として確認できる建造が開始され、かつ、少なくとも50トン又は全建造材料の見積重量の1%のいずれか少ないものが組み立てられた状態にある船舶
 - (3) 2021年1月1日以降の引き渡しが行われる船舶
3. 前2.にかかわらず、次のいずれかに該当する船舶にあっては、この規則による規定を適用する。
 - (1) 施行日以降に低引火点燃料の使用のための改造が行われる船舶
 - (2) 施行日前に低引火点燃料の使用を承認された船舶であって、施行日以降に他の低引火点燃料の使用を開始する船舶

21章 ブルワーク，ガードレール，放水設備，玄側諸口，丸窓，角窓，通風口及び歩路

21.6 通風筒

21.6.7 を次のように改める。

21.6.7 非常用発電機室の通風筒

非常用発電機室への給気に使用される通風筒の縁材は，甲板上の高さが，**19.1.2** に規定する位置Ⅰにあっては $4.5m$ を超えるもの，位置Ⅱにあっては $2.3m$ を超えるものとし，**D編 1.3.5-2.**に適合するものを除き，風雨密閉鎖装置は取り付けてはならない。ただし，船舶の大きさや配置上の理由でこれが実行不可能な場合，本会の適当と認めるところによる。

附 則 (改正その 2)

1. この規則は、2017年1月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。
* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

英文 (正)

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考:

1. 本 PR は、2009年7月1日から適用する。

鋼船規則検査要領

CS 編

小型鋼船の船体構造及び船体艤装

要
領

2016 年 第 2 回 一部改正

2016 年 12 月 27 日 達 第 76 号

2016 年 7 月 27 日 技術委員会 審議

2016年12月27日 達 第76号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艤装

改正その1

付録1 検査要領C編の準用

以下、規則CS編の規定に関する検査要領は、表CS検査要領対応表に示す通り鋼船規則検査要領C編を準用する。

表 CS を次のように改める。

表 CS 検査要領対応表

規則 CS 編	検査要領 C 編	規則 CS 編	検査要領 C 編	規則 CS 編	検査要領 C 編
1.1.3	C1.1.3[注 1]	13.3	C13.3	21.1.2	C23.1.2[注 19 20]
1.3.1	C1.1.7 C1.1.11 及び C1.1.12	14.1.3	C14.1.3	21.1.3	C23.1.3[注 20 21]
		14.2.3	C14.2.3	21.2.1	C23.2.1[注 21 22]
		15.1.1	C15.1.1	21.2.2	C23.2.2[注 22 23]
2.1.1	C2.1.1	15.2.1	C15.2.1	21.2.3	C23.2.3
2.2.2	C2.2.2	15.2.3	C15.2.3	21.3	C23.3
2.2.3	C2.2.3	15.3	C15.4.1-2.	21.4	C23.4[注 23 24]
2.2.4	C2.2.4	16.3.3	C16.3.3	21.5.1	C23.5.1[注 24 25]
3 章	C3	16.4.4	C16.4.4	21.5.3	C23.5.3[注 25 26]
4 章	C4	16.5.3	C16.6.1	21.5.7	C23.5.7[注 26 27]
5 章	C5	16.6.1	C16.7.1	21.6.5	C23.6.5[注 27 28]
6.1.1	C6.1.1-1.及び-2. [注 2]	16.6.2	C16.7.2	21.6.7	C23.6.7[注 28 29]
		17.1.1-1	C10.2.1[注 9]	21.6.8	C23.6.8
6.1.3	C6.1.3[注 3]	17.2.1	C17.1.1	21.7.1	C23.7.1[注 29 30]
6.6.2-1	C6.4.3-2.	17.2.2	C17.1.2	21.7.2	C23.7.2
6.7.1	C6.5.1-1.及び-4.	17.2.4	C17.1.4[注 10]	21.8.1	C23.8.1[注 30 31]
6.9	C6.8	17.2.5	C17.1.5	21.9.1	C23.9.1[注 31 32]
7.5.2	C7.6.2[注 4]	17.3.2	C17.2.2	22.2.1	C24.2.1
7.5.3	C7.6.3[注 5]	17.3.4	C17.2.4	22.4.1	C25.2.1[注 32 33]
8.3	C7.5.3	17.3.5	C17.2.5	22.4.2	C25.2.2
9.1.2	C9.1.2[注 6]	17.4.1	C17.3.1	22.4.3	C25.2.3[注 33 34]
9.1.3	C9.1.3	17.4.5	C17.3.5	23.1.2	C27.1.2
10.1.2	C10.1.2	18 章	C18	23.1.5	C27.1.5
10.2.3	C10.3.3[注 7]	19.1.2	C20.1.2[注 11]	23.1.6	C27.1.6
10.3.2	C10.4.2	19.2.4	C20.2.4[注 11 12]	23.2	C27.2
10.7.1	C10.9.1	19.2.5	C20.2.5[注 12 13]	24.1.1	C29.1.1[注 34 35] [注 35 36]
11.1.2	C11.1.2	19.2.6	C20.2.6[注 13 14]		
11.2.1	C11.2.1	19.2.10	C20.2.10[注 14 15]	24.1.2	C29.1.2[注 36 37]
12.1.3	C12.1.3	19.2.12	C20.2.12[注 15 16]	24.3.2	C29.4.2
12.1.4	C12.1.4	19.2.13	C20.2.13[注 16 17]	24.9.4	C29.7.4[注 37 38]
12.2.1	C12.2.1[注 8]	19.3.5	C20.3.5[注 17 18]	24.11.5	C29.12.4
13.1.1	C13.1.1	19.4.2	C20.4.2	25.1.2	C34.1.2[注 38 39]
13.1.4	C13.1.4	20.2.2	C21.2.2	26 章	C35
13.2.3	C13.2.3	21.1.1	C23.1.1[注 18 19]		

注

([注 1]から[注 10]は省略)

[注 11] C20.1.2 中、規則 C 編 20.1.2 は規則 CS 編 19.1.2 と読替える。

[注 ~~11~~12] (省略)

[注 ~~12~~13] (省略)

[注 ~~13~~14] (省略)

[注 ~~14~~15] (省略)

[注 ~~15~~16] (省略)

[注 ~~16~~17] (省略)

[注 ~~17~~18] (省略)

[注 ~~18~~19] (省略)

[注 ~~19~~20] (省略)

[注 ~~20~~21] (省略)

[注 ~~21~~22] (省略)

[注 ~~22~~23] (省略)

[注 ~~23~~24] (省略)

[注 ~~24~~25] (省略)
[注 ~~25~~26] (省略)
[注 ~~26~~27] (省略)
[注 ~~27~~28] (省略)
[注 ~~28~~29] (省略)
[注 ~~29~~30] (省略)
[注 ~~30~~31] (省略)
[注 ~~31~~32] (省略)
[注 ~~32~~33] (省略)
[注 ~~33~~34] (省略)
[注 ~~34~~35] (省略)
[注 ~~35~~36] (省略)
[注 ~~36~~37] (省略)
[注 ~~37~~38] (省略)
[注 ~~38~~39] (省略)

附 則 (改正その1)

1. この達は、2016年12月27日(以下、「施行日」という。)から施行する。
2. 施行日前に建造契約が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例による。

付録1 検査要領C編の準用

以下、規則CS編の規定に関する検査要領は、表CS検査要領対応表に示す通り鋼船規則検査要領C編を準用する。

表CSを次のように改める。

表CS 検査要領対応表

規則CS編	検査要領C編	規則CS編	検査要領C編	規則CS編	検査要領C編
1.1.3	C1.1.3[注1]	13.3	C13.3	21.1.3	C23.1.3[注2021]
1.3.1	C1.1.7 C1.1.11及び C1.1.12	14.1.3	C14.1.3	21.2.1	C23.2.1[注2122]
		14.2.3	C14.2.3	21.2.2	C23.2.2[注2223]
		15.1.1	C15.1.1	21.2.3	C23.2.3
2.1.1	C2.1.1	15.2.1	C15.2.1	21.3	C23.3
2.2.2	C2.2.2	15.2.3	C15.2.3	21.4	C23.4[注2324]
2.2.3	C2.2.3	15.3	C15.4.1-2.	21.5.1	C23.5.1[注2425]
2.2.4	C2.2.4	16.3.3	C16.3.3	21.5.3	C23.5.3[注2526]
3章	C3	16.4.4	C16.4.4	21.5.7	C23.5.7[注2627]
4章	C4[注2]	16.5.3	C16.6.1	21.6.5	C23.6.5[注2728]
5章	C5	16.6.1	C16.7.1	21.6.7	C23.6.7[注2829]
6.1.1	C6.1.1-1.及び-2. [注3]	16.6.2	C16.7.2	21.6.8	C23.6.8
		17.1.1-1	C10.2.1[注910]	21.7.1	C23.7.1[注2930]
6.1.3	C6.1.3[注34]	17.2.1	C17.1.1	21.7.2	C23.7.2
6.6.2-1	C6.4.3-2.	17.2.2	C17.1.2	21.8.1	C23.8.1[注3031]
6.7.1	C6.5.1-1.及び-4.	17.2.4	C17.1.4[注4011]	21.9.1	C23.9.1[注3132]
6.9	C6.8	17.2.5	C17.1.5	22.2.1	C24.2.1
7.5.2	C7.6.2[注45]	17.3.2	C17.2.2	22.4.1	C25.2.1[注3233]
7.5.3	C7.6.3[注56]	17.3.4	C17.2.4	22.4.2	C25.2.2
8.3	C7.5.3	17.3.5	C17.2.5	22.4.3	C25.2.3[注3334]
9.1.2	C9.1.2[注67]	17.4.1	C17.3.1	23.1.2	C27.1.2
9.1.3	C9.1.3	17.4.5	C17.3.5	23.1.5	C27.1.5
10.1.2	C10.1.2	18章	C18	23.1.6	C27.1.6
10.2.3	C10.3.3[注78]	19.2.4	C20.2.4[注4112]	23.2	C27.2
10.3.2	C10.4.2	19.2.5	C20.2.5[注4213]	24.1.1	C29.1.1[注3435] [注3536]
10.7.1	C10.9.1	19.2.6	C20.2.6[注4314]		
11.1.2	C11.1.2	19.2.10	C20.2.10[注4415]	24.1.2	C29.1.2[注3637]
11.2.1	C11.2.1	19.2.12	C20.2.12[注4516]	24.3.2	C29.4.2
12.1.3	C12.1.3	19.2.13	C20.2.13[注4617]	24.9.4	C29.7.4[注3738]
12.1.4	C12.1.4	19.3.5	C20.3.5[注4718]	24.11.5	C29.12.4
12.2.1	C12.2.1[注89]	19.4.2	C20.4.2	25.1.2	C34.1.2[注3839]
13.1.1	C13.1.1	20.2.2	C21.2.2	26章	C35
13.1.4	C13.1.4	21.1.1	C23.1.1[注4819]		
13.2.3	C13.2.3	21.1.2	C23.1.2[注4920]		

注

[注1] (省略)

[注2] C4.2.3-2.中、規則C編23.6.5-2.は規則CS編21.6.5-2.と読替える。

[注3] (省略)

[注34] (省略)

[注45] (省略)

[注 56] (省略)
[注 67] (省略)
[注 78] (省略)
[注 89] (省略)
[注 910] (省略)
[注 1011] (省略)
[注 1112] (省略)
[注 1213] (省略)
[注 1314] (省略)
[注 1415] (省略)
[注 1516] (省略)
[注 1617] (省略)
[注 1718] (省略)
[注 1819] (省略)
[注 1920] (省略)
[注 2021] (省略)
[注 2122] (省略)
[注 2223] (省略)
[注 2324] (省略)
[注 2425] (省略)
[注 2526] (省略)
[注 2627] (省略)
[注 2728] (省略)
[注 2829] (省略)
[注 2930] (省略)
[注 3031] (省略)
[注 3132] (省略)
[注 3233] (省略)
[注 3334] (省略)
[注 3435] (省略)
[注 3536] (省略)
[注 3637] (省略)
[注 3738] (省略)
[注 3839] (省略)

附 則 (改正その2)

1. この達は、2017年1月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例による。
* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

英文 (正)

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更があつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があつた場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考:

1. 本 PR は、2009年7月1日から適用する。